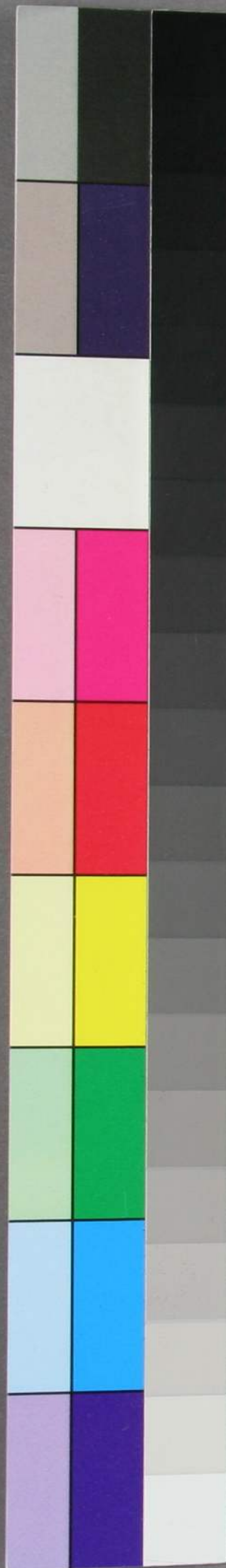


外組八十七組之林

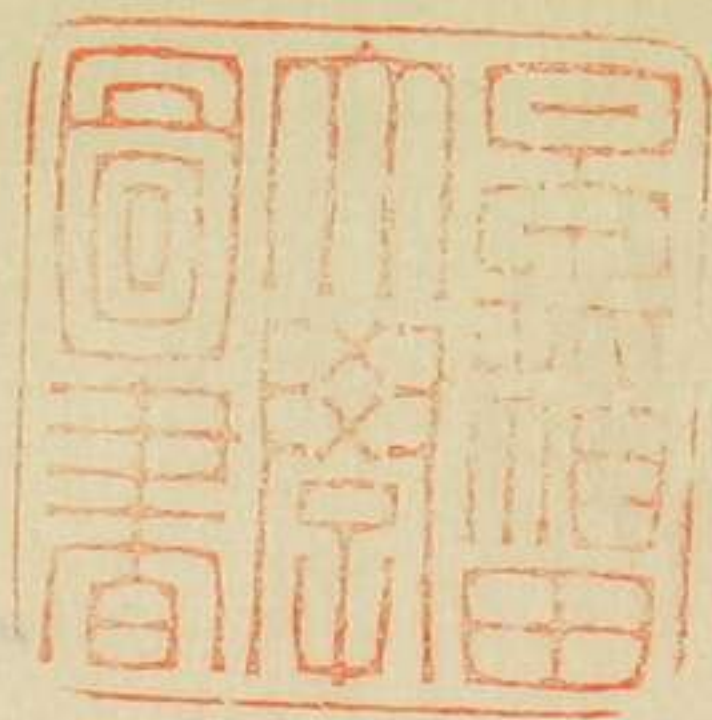
才七

鳥跡香	雲丹香
駒止香	八景香
玉章香	賓客香
草花香	恋草香
關寺香	替四季香

多 9
1338
42



門 移 9
號 1338
卷 42



外組香八十七組之内才七

鳥跡香

雲丹香

駒止香

八景香

玉章香

賓客香

草花香

悉草香

關寺香

替四季香



蘭干香

發四本香

草花香

赤草香

江草香

實谷香

深土香

人景香

良辰香

聖丹香

伏臘香八十六殿之内

鳥跡香

香教不定たるの二首の歌の五えまを

以香教を定むる

雞皮骨のけしきこの花をいり

いりいりいりいりいりいり

廣香ふりけしきいりいりいり

あきいりいりいりいりいり

多々少々の間にの五々字と字縦左
のこゝろ

を〜て 二包俵内一色試

に〜て 二包俵 同り

を〜て 二包俵 同り

は〜て 二包俵 同り

右香四種と五種多しにの香ハ五々字
の肉ハ回香ニ所あるハ香数四種成
る〜の香中極ハ試香四種ありて出香
五包お交り類多し試合ヤ名乗紙書付

出香名 記 詠 々 々 々 五字 傳 傳 傳

小草 香 の 香 記 花 の 香

香 海 香 記

な に つ に は

名 凡 な つ に は 三

名 名 に つ に は 叶

名 名 に つ に は 三

名 名 に は つ に 二

名 名 に は に な 二

月 日 出 香 名 衆

記録少紙一可准那李

死たえ川とあきまの三句斗とくふまうしをうらめ
句とくまゆり

雲井香

香三種

舟一 二包俵内五試

波一 五包俵五試

雲一 一包俵同試

右試香終り本香七包お六人柱出まき
 名乗紙と用也了了 忘れ左の事

一	二	三	四
五	六	七	

如女始り名乗紙一
 二三四五六七
 書付と云 右出香は終り
 為香雲の
 香出しとておひか
 書まし出まき
 一記限得や孝の事
 忘れおひか
 字香
 の下は名乗紙
 左の事

舟雲もんや南うらま
和田原

舟斗やうる下
漕

雲斗やうる下
久

舟雲もんや南うらま
沖送

和日の系
舟雲もんや南うらま
沖送

この歌は
紀所あり
古記録の面

可き方
たの

雲井香之記

波波雲波舟波波

名
波波雲波舟波波
和田原

名 波波雲波波血皮

久々

名 波波波舟波波雲

仲送

月日

出香名乘

斗々々 可准那

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

駒止香

香三種

井子玉川右舟 二色徳内 色紙

佐野度 右舟 右同

宇治度 右舟 右同

右試三種のく本香三包打中花柱出
試合名衆城書付出南より上金
記録点致の如く名目あり佐也
尚る人の袖拂書井の川
水筒古字後く尾く尚る人の本幡川

書三種のく人の駒止書三種
尚る人の番馬と書付く付
駒止書三種のく人の駒止書三種

駒止書三種のく人の駒止書三種
駒止書三種のく人の駒止書三種
駒止書三種のく人の駒止書三種
駒止書三種のく人の駒止書三種

杖江の馬を見合ふ

駒止香之記

佐の川
井の川

名
佐の川
水筒

名
佐の川
駒止

名
佐の川
馬

名
佐の川
神

月日
出香名

記録

八景香

香四種

春

五色保内百紙

夏

右同

秋

右同

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

冬〜 右回り

右本香十六包と二包了始り 法合

左の香

春〜 夏〜

秋〜 冬〜

春夏 夏秋

秋冬 冬春

右の〜 法合 試香 四種あり

本香ハ 法合 試香 試香 試香

法合 試香 試香 試香 試香

月一朶お年一たのこま

春のこま
ゆ帆のれお年

夏くま
おるのれお年

冬くま
晴嵐のれお年

春夏くま
晚鏡のれお年

夏秋くま
夕照のれお年

秋冬くま
唇唇のれお年

冬春くま
暮雪のれお年

秋くま
秋月のれお年

右記録語独たのこま
但点星あり一人のみ

八五二人す二五三人す何人より一五了又
 多人すハ八星之より二星三人より一星了
 多し其記の如く考へたり之を

八景香之記

春夏 秋冬 春昏 秋秋
 夏夏 冬冬 夏秋 冬春

若松

夜雨 晚鐘 落月 秋月
 暮雲 晴嵐 夕照 帰帆

四景 八景

青柳

晚鐘 落月 夕照 秋月
 夜雨 晴嵐 夕照 帰帆

六景 八景

白菊

落月 夕照 秋月 晚鐘
 夜雨 晴嵐 夕照 帰帆

二景 九四景

吳竹

晚鐘 落月 夕照 秋月
 暮雲 晴嵐 夕照 帰帆

六景 六景

月日

出香名乘

まろくは、准生、一、位、は、高、の、人、八、景、と、書

ゆ

う、白、露、の、香、は、清、涼、の、香、に、似、て、
六、景、と、書

清、涼、の、香、は、清、涼、の、香、に、似、て、
六、景、と、書

紫、珠、の、香、は、清、涼、の、香、に、似、て、
八、景、と、書

玉、章、香、の、香、は、清、涼、の、香、に、似、て、
八、景、と、書

香、四、種

初、雁、の、香、は、清、涼、の、香、に、似、て、
一、包、試、と、書

右、同、り、と、書

厚、金、と、書
右、同、り、と、書

玉章一色 一色、依て試

右試香三種ありて 本香十包 打交五包
つ分先 五包の陰き玉 燻五包と 燻出
玉章一色 五包の内は 玉章の香 出れと
一色、依て試 玉章の香 出れと

れ玉章一色 五包の内は 先元香包と
玉章一色 五包の内は 玉章
の香 出れと 燻玉章の香 五包の香を 燻
玉章一色 五包の内は 玉章
の香 出れと 燻玉章の香 五包の香を 燻
玉章一色 五包の内は 玉章
の香 出れと 燻玉章の香 五包の香を 燻

南斗一什

玉皇早香之記

雙一全玉皇

札 函一全到奉函一全

札 一全全一全函一全

月日 出香名乘

去一全一全

賓客香

香四種

一 包 德 儀

二 右 同 行 三 合 行

三 右 同 行

...

...

...

香と名付

二色と徳内一色試

右香試一色焼く本香一二三合て

九色打もせ焼出ま十粒香のこくす

五色まぐ焼く四色と香香をくく色

く焼出ま六色のこくす七色目くす

香出以牙と香焼く香一馬香のこく

を一粒のまぐ焼く記録徳内十粒香

のこくたの過まぐて香香何所と香

マダマ

宿香香記

二二三二二三二三一ウ

札 一ニニハ^三ニウ一三 五

札 一ニニハニニウ 五

札 一ニニハニニウ皆

札 一ニニハニニウ

月日 出香 必乗

記 録 之 妙 絶 矣 但 此 香 の 占 其 香

之 妙 絶 矣 但 此 香 の 占 其 香

出 一ニニハニニウ

一ニニハニニウ

一ニニハニニウ
ハニニハニニウ
ハニニハニニウ
ハニニハニニウ

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

草花香

香四種

春

夏

秋

右同

冬

一色徳試

右試終る木香十包打交煙出試
あそやれやう十種香のれと用也一煙用
南中試志るに盤物

盤まゝの活の煙れ一枚了盤面上

左のりくふはるに五花と下座を
むらさきと打取やうと春夏秋冬何れ
南季のものも亦とるる南季
なまき香を一問了進み南季の香を二問
了進むる獨りの三問進む不字一問

花を移るすは二間多し 冬は三間多し
いづれ多く不進人から引く程は年二間
三間の都合は満ちてもう降り又自
分の花へ進法の時若し盤中より不進人
ありて合取場より内より有るは其花を

二三人し一所の進法の時上より人下より人なり又一人進て不進人
多しあるは上より人の多しなり一馬より一人の多しなり又一人進て不進人
多しあるは上より人の多しなり一馬より一人の多しなり又一人進て不進人

進法人のより取すは陸より進むあり
花二本より多しを中取は二花とす
三本より三花とす年一花と有るは花
多し人の毎花とす花の名は南とす上は
はまのり 七とす

春 極草 多しき 草 咲 きれ せん

夏 中 少し 夏 咲 あり

秋 あり 秋 咲 あり

冬 あり せん

右の草 四季 咲く 草 あり

草 花 別々 他 不及 指 杖 袋 の 十二 月

の 草 花 を 用 て 盤 を 名 所 香 乃

盤 を 用 じ 記 録 左 の 草

草花香之記

二二二二三一一三三三ウ

札^長 札^長 札^長

二 一 二 三 三 三 六

二 二 一 二 三 一 一 三 三 一 二 花 全

二 一 一 三 一 三 花 三

月日 出香名乘

記^レ 光^レ 准^レ 多^レ 多^レ

香草香

香四種

忍草^一 三色^二 德^三 試^四 試^五

忘草^一 右^二 同^三 試^四 試^五

新^一 試^二 試^三 德^四 內^五 一^六 色^七 試^八

油の量

右同り

右試おろし 本香丸⁺包し 量初と忍
 草 三包と 高草 三包 都合 六包 文
 内 一包 陰 又 彰 矯 二包 一 徳 二
 包 合 四包 文 内 一包 陰 矯 二包

初の五包と 合 八包と 再 文 桂 等
 試香 合 名 兼 辨 其 付 出 多 年 記 録
 忍草 三 粒 本 香 の 下 と 大 の

歌と書

事院七百有

おのつし 志 一 一 の 一 一 の 一 一

忍草の量

志草三行由ふり同所より太の款下書

新千載集

志草千佳ふりふりふりふりふりふり

くさくさくさくさくさくさくさくさくさく

志草の如くくさくさくさく

志草

志草

志草

志草香之記

袖の香

志草に袖志 志 志草佳ふりふりふりふり
志草に袖志 志 志草佳ふりふりふりふり
志草に袖志 志 志草佳ふりふりふりふり

名 袖 志 志 志 志 志 志 志 志 志 志

二

名 志 志 志 志 志 志 志 志 志 志

全

名 志 志 志 志 志 志 志 志 志 志

二

月日

出香名集

まろくしき唯まふり

此香二種、其成法、君之志、香之味、
之香、其香、其香、其香、其香、其香、其香、
其香、其香、其香、其香、其香、其香、

関守香

香四種

一、
二、包徳内瓦試

三、
右同

四、
右同

鶏

三色徳成

先最初より孟嘗君方 関守方 叔才
人叔之別して年 屯人叔半叔
無九と之と十叔と合る 叔
試香三種 出ふた包 文様

試合九抄 試香の各九抄 孟嘗
君方ハ南と 孟嘗君方ハ南と
南と孟嘗君方ハ南と 孟嘗君方
鶏と一人 孟嘗君方 二点 孟嘗君方
時日 孟嘗君方 関守方 鶏と一人 孟嘗

星三ツ付る二人より何人より星二ツ付る
関守方ハ不南香ヲ白クカケ南ノ香ニ
星一つ付る孟嘗君方ハ常ノトク南ノ
五枚多ク孟嘗君方ハ弱ク関守方ハ不
南ノ勝者トシテ強ク南ノ勝者トシ

出香の教六種を曉の時教かきしり
右記録の面々終つて左のま

関守香之記 一 二 三 鶏

ウウニ一ウニ

孟嘗君方五八員了

札各

一三ウニガウ

星 貞二

札各

ウガニ一三ウ

星 貞五

札各

ニガウ三一ウ

星 貞一

関守方 五十六

札各

ニウガウ一ニ

星 貞二

札各

三ウガウ一ニ

星 貞五

札各

一ニガウ三ウ

星 貞二

月日

出香名衆

記録先下准多中

星ノ多クヨリズ且ク物身ヲ付ケル一抄所
早クハ物身ヲ付ケル

替四季香

香九種

子日

二色、徳内一色試

時鳥

右同

七夕

右同

千々々々々 右同り

花紅葉々々 右同り

春々々々 一色徳と成

春々々々 右同り

春々々々 右同り

春々々々 右同り

右試香五種始々々 出香九色お文様土

一試合札お多々々 春香ハ揚所合々

南々々々々 三十粒の内星合香の々々 但

一炷開々々 本香を先々々々 浴々々々

南斗と書付不函ハ不書札の表章の

裏子日一枚時々一枚七夕一枚千々

一枚花の葉一枚各四枚あり古記の蘭

下考左の

子日 時々 各
替四季香日記 千々 花の葉 各
子日 時々 各 花の葉 各

札 時々 各 花の葉 四

子日 時々 各 花の葉 全

札 各 各 各 四

月日 出香名乗

斗とく先子唄とる

...

...

...

...

...

